

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におけるブックガイド。

はぴ

38

号

2017年10月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館
浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<http://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



は
し
る
の
ヲ
読
ム





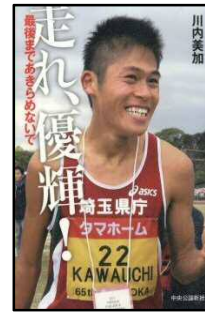
『シティ・マラソンス』

みうら 三浦しをん・あさの あつこ・近藤史恵 作
文春文庫 2013年

おれのシューズでおまえに走ってもらいたい。

スポーツメーカーのシューズオーダーメイド部門で働く南野悠斗に、音信不通だった冠城湊から突然電話があった。高校時代、同じ陸上部で汗を流した湊は、一般ランナーとして東京マラソンを走るといふ。湊の声を聞くと、共に走った苦く切ない青春時代に引き戻される。そのとき悠斗は、頭の中で閃いたある思いを口にしていた。(『フィニッシュ・ゲート』より)

シティ・マラソンを舞台にした、アスリートのその後を描く短編集。



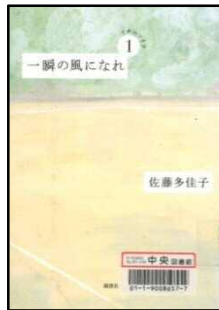
『走れ、優輝! 最後まであきらめないで!』

かわうち みか 川内美加 作 中央公論新社 2012年

目標に向かうアプローチ法は、「常識」という一本道だけではありません。

さいたま 埼玉県庁所属で「最強の市民ランナー」として有名な川内優輝選手の半生をつづらった本。幼少期から母親のスパルタ指導を受け、マラソン漬けの日々を送る。イヤになることがあっても、毎日限られた時間の中、全力疾走で頑張りを続けた。そこに、今の世界陸上などでの活躍の秘密がある。

継続する力、やり遂げる力の大切さをきくとあなたも受け取れるはず。



『一瞬の風になれ』 1~3

さとう たかこ 佐藤多佳子 作 講談社 2006年

何mでもいい。なんだっていい。俺はこいつともっと走りたい!

受験の失敗や天才サッカー選手の兄への複雑な思いから、サッカーの道を諦めた新二。高校生活が始まったある日、50m走を幼馴染の天才スプリンター・連と走ることになった。連の美しい走りに強く惹かれた新二は、陸上部に入る気のない連に、入部を強く勧める。新二の走りに魅力を感じた連もまた、新二を誘うのだった。

神奈川県の高陸上部を舞台に、新二の新たな挑戦が始まった。

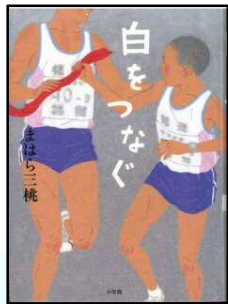


『そして、僕らは風になる』

たなか わたる 田中渉 作 マガジンハウス 2009年

生きて、走れることに、ありがとう。

「陸上部の子供を見てやってほしいんです」
サンタクロースの格好で町を徘徊する大羽澄人は、15年ぶりに再会した初恋相手から、逃げ足の速さを買われ依頼された。断り切れずやせっぽちで運動オンチな陸上部員、ケンケンの練習を見守ることに。やがて澄人はケンケンの抱える問題を知る。澄人にもまた、乗り越えられない過去があった。そして2人は大きな夢を追い始め…。



『白をつなぐ』

まはら みと 三桃 作 小学館 2015年

ほかでもない、おれが抜きたいのだ。

毎年1月、広島で開催される都道府県対抗男子駅伝。スター選手の水島颯がトップで走ってくると、四区の谷山林太郎の肩に、郷土を背負う大会の重さがめりこんだ。水島が近づくと、足が小さく震えた。気負いすぎて力が入り、3人の選手に抜かれ、焦りばかりが募る。そのとき浴道から「まっしろになれ!」と声が聞こえた。林太郎はその言葉に込められた意味に気付くと…。

福岡を代表する7人の選手の物語。



『ダッシュ!』

いがらし たかひさ 五十嵐貴久 作 ポプラ社 2009年

部活も勉強も犬に食われる。大事なのはねーさんのことだけだ。

平凡な男子高校生・イノケンとは色男のリョーイチ、デブのメタボン、小心者のわび助とつるんでいる。4人は同じ陸上部のアイドル的先輩「ねーさん」が大好きだ。しかし、そんなねーさんが骨肉腫におかされてしまう。手術日が迫る中、イノケンはねーさんから行方不明の元彼に会いたいという願いを託された。海外のどこかでサーフィンをしているという情報だけを頼りに、必死で奔走!果たしてねーさんの願いを叶えられるだろうか?



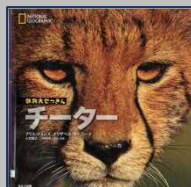
レーンに並んだ、動物たち！
命の糧^{かて}を得るために、
自らの命を守るために、
彼らは生きるために走り続ける。
そんな彼らの命を懸けたレース^かをご覧ください！



レーシングカーよりも速く
スピードを上げて
駆けぬけていく動物 (P5)

『チーター』

クリス・ジョンズ & エリザベス・カーニー 作
こみや てるゆき
小宮 輝之 監修
ほるぶ出版 2012年



大型の種は、

瞬発力と持久力の両方を兼ねそなえた
優れたランナー (原著序文)

『知られざる動物の世界 9 地上を走る鳥のなかま』

ひぐち ひろよし しまだ かおり
樋口 広芳 監訳 嶋田 香 訳
朝倉書店 2013年



速すぎて、

肉眼では飛び散る水しか見えません (P27)

『バシリスク — 水の上を走るトカゲ —』

しまだ ただし
嶋田 忠 作
福音館書店 2011年



次回
予告

はぴ39号(1月発行)のテーマは

記念

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの作成費用は3円(概算)です。